

こわーいえほん

おばけや妖怪がでてくるこわーい絵本を集めました。本当にこわい絵本もあるので、心の準備をしてから読んでくださいね。



西条市立西条図書館
2024年8月おすすめえほん



『こわめっこしましょ』

tupera tupera/さく 絵本館

ねえねえ「こわめっこ」しようよ。「にらめっこ」じゃなくて「こわめっこ」。にこにこした顔の妖怪や魔女たちが、ページをめくると、ものすごくこわい顔に。泣いたら負けよ。思いっきりこわい顔をして、妖怪たちに勝とう！ **こわさ★** ちょっとこわい



『おばけでんしゃだおとうとうさぎ!』

ヨナナ・ビョルンシェーナ/作 ヘレンハルメ美穂/訳
クレヨンハウス

おとうとうさぎがとび乗った「おばけでんしゃ」は、すごいスピードで「おそろしのために」にまっしぐら。車輪がキーッと悲鳴をあげ…。おとうとうさぎはでんしゃを止めることができるのか？。

こわさ★ ちょっとこわい



『ついてくる』 小川 育/作・絵 教育画劇

遊びに夢中になって、すっかり帰るのが遅くなってしまった男の子。暗い道を歩いていると、ひたひた、かさかさ、ペとペと、何か後ろから、ついてくる音が…。ページをめくるとび繰り返される、緊張と安堵がスリル満点の絵本。

こわさ★★ かなりこわい



『あかいさんりんしゃ』

犬飼 由美恵/文 中島 梨絵/絵 成美堂出版

登校中、ぼくは赤い三輪車に乗った女の子を見かけた。「どこいくの?」と言うので、「がっこうだよ」と答えた。それから、どこへ行っても、三輪車に乗った女の子が現れて…。不安が恐怖につながる”きちんと怖い”怪談絵本。

こわさ★★★ コワイ



『おばけのきもだめし』

内田 麟太郎/文 山本 孝/絵 岩崎書店

今夜はおばけのきもだめし大会。おばけのこどもたちは、おばけの森にはいったとたん、足がすくんでしまいます。すると、そこにおおダヌキ、ガマガエル、やまんばがあらわれて…。ドキドキおばけ絵本。

こわさ★ ちょっとこわい



『きもだめし』 新井 洋行/作 講談社

ようこそ。これより皆さまを恐ろしい肝試しにご案内します。ひとつ目小僧、のっぺらぼう…。ページをめくるとお化けがあらわれる、夏にぴったりのしかけ絵本。

こわさ★★ かなりこわい



『空き家』

有田 奈央/文 森 洋子/絵 新日本出版社

町の外れにある空き家。夏のある日、わたしたちはその中へ入った。みんなは楽しそうに家の中を探検していたけれど、わたしはこの家のおかしさに気付き…。緻密な描写と余韻を残す文章で、恐怖へ引きずり込む絵本。

こわさ★★★ コワイ



『あずきとぎ』 京極 夏彦/作

町田 尚子/絵 東 雅夫/編 岩崎書店

しょきしょきしょき。川で変な音を聞いたぼく。おじいちゃん、あずきとぎというおばけがあずきを洗う音だと言う。おばけなんかいないさ。次の日も川に行くと、あの音が聞こえ…。怖い妖怪と出会う絵本。

こわさ★★★ コワイ